



しあわせ  
信州

# 長野県議会

## 改革・新風

会派だより

第15号 (2015年) 平成27年1月

発行・編集/改革・新風  
長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
http://www.kaikaku-shinpuu.com



今年も会派一同がんばります！

- 石和 大 (副政策審議会長)
  - 中川 博司 (副広報企画委員長)
  - 壘 裕一 (政務調査会長)
  - 山岸 喜昭 (広報企画委員長)
  - 下沢 順一郎 (幹事長代理・政策審議会長)
  - 野澤 徹司 (副代表)
  - 倉田 竜彦 (代表)
  - 竹内 久幸 (副代表)
  - 荒井 武志 (副政務調査会長)
  - 小島 康晴 (幹事長)
  - 堀場 秀孝 (副政務調査会長)
  - 吉川 彰一 (財務委員長)
  - 続木 幹夫 (副広報企画委員長)
  - 依田 明善 (副政策審議会長)
- ( )内は会派役員

### 代表年頭ご挨拶

長野県議会「改革・新風」代表 倉田 竜彦

新春のお喜びを申し上げます。皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年、県内では大雪、御嶽山噴火、神城断層地震など自然災害が多く、長野県議会も人命第一、そして速やかな復興に向けて努力をまいりました。あらためて被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

また、阿部守一知事の二期目の選挙も行われました。知事に対しては「是非々々」の立場でチェック機能を果たすとともに提言を行ってまいります。

私ども改革・新風は会派の基本理念である「地域主権」「生活者原点」「格差社会是正」「県政改革」実現のため、絶えず県政に新しい風を送るため県政への提言を行ってまいりました。

また、県民の皆様と率直に語り合う「県政対話集会」は、この四年間で九回開催し、具体的な県民要望の実現にも努力をまいりました。


四月には県議会議員選挙が行われますが、残された期間、引き続き県民の皆様との立場に立ち、県政改革をはじめとした県政への取り組みを積極的に行ってまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 応急仮設住宅の設置 2億4千万円余(建設部)
- 住宅に被害を受けた被災者の生活の安定と立て直しを図るため、災害救助法に基づき応急仮設住宅を設置
- ・設置戸数・47戸(建設35戸、民間賃貸住宅の借上げ12戸)
- 被災施設の早期復旧 10億6千万円余
- (建設部、林務部)
- 道路、河川、農地、水路、土砂災害発生箇所等の応急対策、復旧工事等を実施
- 被災した県営住宅の緊急修繕

### 神城断層地震災害お見舞い

11月22日に発生した長野県神城断層地震において被害にあわれた皆様にお見舞いを申し上げます。長野県議会は、仮設住宅の建設費など早期議決を図るとともに、引き続き被災された皆様の生活の復興のため全力をあげてまいります。また冬季の観光に影響を及ぼさないよう、協議の場でも応援いたします。

また、農業大学校小諸キャンパスでは、地域との連携が問われる中、これまで約5億7千万円の予算で農業機械の充実、ほ場整備、施設改修など充実が図られていくことを視察しました。

25日は、主要地方道丸子信州新線を小型バスで通行し、幅員の狭さなど窮状を實際に確認しながら、青木村役場での対話集会に向かいました。お集まりいただいた村民の皆様からは、国道143号青木峠新トンネルの促進、鳥獣被害対策など、多くの要望と会派への期待が寄せられました。各地の対話集会でいただいた貴重なご意見等は、今後の議会活動に活かしてまいります。

### 11月定例議会で決められた主な予算

#### 御嶽山噴火災害からの復興と火山の安全対策

- 木曾町、王滝村による災害復興等のための基金設置への支援 2億円(企画振興部)
- 御嶽山の噴火災害への緊急対策や災害からの復興に向けて、地域の実情に応じた弾力的かつ、きめ細やかな対応ができるよう、木曾町と王滝村による復興基金の創設を支援
- 医療提供体制の強化
- 医療提供体制の改革 22億7千万円余(健康福祉部教育委員会)
- 医療・介護サービスの提供体制の改革を進めるために新たに基金を造成
- 道路区画線等の塗り替え 3億1千万円(建設部、警察本部)
- 冬期の除雪等で不鮮明となる道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを迅速に進めるため、債務負担行為を設定
- 県民生活の安全・安心の確保
- 道路区画線等の塗り替え 3億1千万円(建設部、警察本部)
- 冬期の除雪等で不鮮明となる道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを迅速に進めるため、債務負担行為を設定

### 県政対話集会3会場にて開催

10月23日から3日間、当会派の県政対話集会を小諸市、上田市、青木村で開催しました。多くの皆様から様々なご意見、ご提言をいただきました。ことに厚く御礼を申し上げます。

#### ● 小諸会場

約160人の皆様にお集まりいただき、北陸新幹線延伸に伴う沿線自治体の一丸となった観光振興、県農業大学の活用、高地トレーニンングセンター構想の進捗、看護師不足や企業誘致、少子化対策など、多分野にわたるご意見、ご質問をいただきました。

対話集会に先立つ現地視察では、御嶽山噴火に関連し、小諸市役所で浅間山の火山対策及び防災対策を、小諸高校では県内唯一の音楽科の特色ある活動や課題を調査しました。

また、農業大学校小諸キャンパスでは、地域との連携が問われる中、これまで約5億7千万円の予算で農業機械の充実、ほ場整備、施設改修など充実が図られていくことを視察しました。

#### ● 上田会場

24日は、動物愛護センターの活動状況や課題、黒耀石体験ミュージアムでの歴史遺産の活用等を調査した後、夕方から約120人の皆様にお集まりいただき対話集会を開催しました。

県営球場のBSOの整備、地域ケアシステムの規制、ラグビーワールドカップのキャンプ地招致の推進、自治医大医師の公平な配置による医師確保、上田バイパスの整備促進、女性が働き続けられる職場環境の整備、間伐の推進等、多くのご意見をいただきました。

#### ● 青木村会場

25日は、主要地方道丸子信州新線を小型バスで通行し、幅員の狭さなど窮状を實際に確認しながら、青木村役場での対話集会に向かいました。お集まりいただいた村民の皆様からは、国道143号青木峠新トンネルの促進、鳥獣被害対策など、多くの要望と会派への期待が寄せられました。各地の対話集会でいただいた貴重なご意見等は、今後の議会活動に活かしてまいります。





通算26回目の一般質問

# 小島康晴の 県政レポート

VOL 31

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

## 長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP://www.kaikaku-shinpuu.com  
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

11月県議会

### 人口減少対策には、きめ細やかな支援を！

元気づくり支援金の再見直しも求める

一般質問

県政報告第31号をお届けします。今回は質問時間11分で、2期目をスタートさせた阿部県政の新年度予算編成に向けて、留意してもらいたいことを中心に、理事者の姿勢を質しました。

#### 勤労者福祉施設の 移管について

【小島】佐久、伊那及び木曾の勤労者福祉センターが今回移管されるが、飯田など残りの4施設の今後の方向性はどうか？

【産業労働部長】労働問題審議会の基本方針を踏まえ、今後も移管交渉を継続していく。

【知事】利用者の大半が所在市町村の住民であるような施設は、利用者の利便性やサービス向上の観点から、市町村に譲渡することが適当と考える。【小島】将来必要となる建て替えのことを考えると心配である。これらを十分配慮して交渉するよう求める。

#### 広域連携の あり方について

【小島】広域連合、平成の大合併、定住自立圏、連携協約制度など、地方自治制度・広域連携の変遷についての所感を伺う。

【知事】国が地方に制度を強要するのは反対であり、国の制度設計が地方の実情にあっていることが重要である。市町村には国の制度をうまく活用する知恵が必要である。

#### 集落単位の支援策

【小島】知事として今後県内で重点的に取り組むものはあるか？

【知事】滞納整理の広域連合の例など、専門人材の確保などに広域連携の必要性が考えられる。制度ありきでなく、ニーズに合わせて仕組みを選ぶべきと考える。

#### 元気づくり支援金の 再見直し

【知事】県職員が「地域担当」として総合窓口となり、集落単位の分析、相談や情報提供など行っていく。「集落再熱実施モデル地区支援事業」などにより、やる気のある集落を応援し、成功事例を積み重ねていきたい。

【小島】決算をみると8億5千万円の予算のうち約7千万円が使われていない。補助額の下限額30万円の撤廃など、活用しやすいものとなるよう再度見直しするべき。

#### 企業局水道事業の 移管について

【小島】今年度公営企業管理者を復活して移管に取り組むとしたが、現況

【知事】今年度公営企業管理者を復活して移管に取り組むとしたが、現況

### 県民文化健康福祉委員会 関西方面で県外視察

滋賀県東近江市の「あいとうふくしモール」は、3つの事業所が参加し、ショッピングモールのようなイメージで、地域の広範なケアのニーズに24時間応えています。

京都造形芸術大学は、こども芸術大学や通信教育部の開設など、特色ある大学経営をしています。

京都芸術センターは、廃校になった小学校を京都の芸術文化振興の拠点とするもので、若手芸術家の育成など注目すべき取組がなされています。

ます。

兵庫県立粒子線医療センターは、陽子線治療と炭素イオン線治療の両方が行える世界初の施設です。最新かつ巨大な機器に驚かされました。

大阪府議会では、「子どもを性犯罪から守る条例」「子どもを性犯罪から守る条例」「がん対策推進条例」について調査しました。

京都の夕食会場では、「京都市清酒の普及の促進に関する条例」に基づき、まず乾杯は地元の清酒で、とのことでした。酒蔵数全国2位の本県としても見習いたいものです。

### 平成25年度決算を認定

私が通算4回目の担当をした決算特別委員会は、現地調査4日、本庁調査6日を行い、11月19日に終了しました。

本会議最終日に委員長報告が行われ、「県財政は厳しい状況が続いており、自主財源の確保への努力、収入未済の発生防止と未収金の解消、翌年度繰越にならないような計画的な事業執行」を求めました。

私が提言してきた次の2点も個別的な指摘要望事項とされました。

●事業改善シートの成果目標については、政策評価の目標との



経験活かし積極的に質疑



兵庫県立粒子線医療センターにて



京都芸術センターにて

### 御嶽山噴火災害 で意見交換

10月23日、今後の議会対応についての情勢判断を行うため、正副議長、全常任委員長が、木曾町長と王滝村長と意見交換しました。



木曾町にて

### 信州軍に エールをおくる

「峠の国盗り綱引き合戦」は28回目となりました。両県などから大勢の皆さんが観戦に來られます。まさに「継続は力なり」と感じます。



### 1年まとめの 県政報告会

11月24日、約100名の皆さんにご参加いただき、1年間の県政報告を行いました。



11月24日、約100名の皆さんにご参加いただき、1年間の県政報告を行いました。

11月24日、約100名の皆さんにご参加いただき、1年間の県政報告を行いました。